

2018年4月2日

森トラスト株式会社
森トラスト・ビルマネジメント株式会社
森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社

PRESS RELEASE

2018年度入社式 訓示

森トラスト株式会社、森トラスト・ビルマネジメント株式会社、および森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社では、本日（4月2日）午前11時より、森トラスト本社（虎ノ門2丁目タワー）にて三社合同の2018年度入社式を開催し、本日より社会人となる新入社員86名に向けて、森トラスト、森トラスト・ホテルズ&リゾーツ代表取締役社長の伊達美和子より訓示が行われました。ここにその内容（要約）をご紹介します。

本日は入社おめでとうございます。皆さんの新しい門出に心からお祝い申し上げます。

森トラストグループは、中長期ビジョン『Advance2027』に沿って、「Out of the box」「Innovation」「Globalism」をキーワードに、事業を進めています。

昨年当社は、ホテルの新規開業が5件、着工件数が3件、ブランド発表が5件あり、また大規模開発では東京ワールドゲートの工事が着々と進み、赤坂二丁目計画では都市計画手続きを進めています。その他の計画も多数控えており、当面の森トラストグループの不動産開発事業は順調であるといえるでしょう。

しかしながら、我々はこれから10年先、20年先の社会の動きを見なくてはなりません。昨年は、IoTやAIというキーワードを聞かない日がないほど話題となりましたが、これからの情報社会のあり方を不動産事業にどう生かしていくかが課題です。これまで、情報と人をつなげるマーケットが作り上げられてきましたが、これからは、これまで接点が薄かった情報とモノがつながり、さらには、コトまでつながる時代がすぐそこまで来ています。加えて、シェアリングエコノミーの発想や働き方改革などの動きが様々な業界に影響を及ぼしている中、オフィス、ホテル、住宅、商業施設、およびこれらのサービスはどのようにあるべきか、我々が提案していく必要があります。

過去20年の社会の動きと全く異なるパラダイムシフトに直面する中、我々は社会の動きをいち早く捉え、次世代型の開発をスピード感をもって実行しなければなりません。これを実行する組織として、個々人が正しい能力を持ち、責任を持って分散処理をしつつ、全体協調を理解して業務をする「自律・分散・協調」型の組織であることが求められます。皆さんには、このような未来の組織を担う人財として、考える力、企画する力、実行する力を養うことを常に念頭において仕事に取り組んで欲しいと思います。

これから様々な知識を身につけることになると思いますが、その意味や必要性を常に考え、既成概念にとらわれず、新たな方法を提案する気持ちで臨んでください。日々の思考の訓練が、必ず将来につながるでしょう。

今年は桜が随分早く咲きました。今年の桜のように、皆さんも新人とは思えない早さで花咲くことを期待しています。

森トラスト株式会社
森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社
代表取締役社長 伊達 美和子